

「コックさんになれますように」
「獣医さんになれますように」今年も七夕飾りの短冊に子どもたちの願いが記されました。

人は、将来を考えると、夢や希望を語ります。私たち大人は、子どもたちに、自分たちが生きる未来への夢と希望を抱き、たくましく生きぬいてほしいと願います。

しかし、子どもたちや家族を取り巻く社会の状況は、核家族化や都市化が進行しライフスタイルも変わる中、大きく変化しています。子どもの心や体の状況については、自制心や規範意識の希薄化、人間関係の形成能力の低下、体力水準の低下傾向などが指摘され、その個人差が広がっているなどの課題があります。人とのよりよいかかわりが十分でないこと、豊かな自然体験の場や機会が減少していること、大人の側の子育てやしつけへの不安、将来のことより今を楽しむ社会風潮などが要因となり、子どもたちに将来への希望を待たせにくくしているのも事実です。だからこそ、子どもたちには、夢を追い続けてほしいと強く思います。

夢や希望に向かって努力を続けていくことは、どの時代においても価値ある人間としての営みであり、未来を切り拓く大きな原動力にもなります。

子どもが夢や希望に向かって努力するためには、まわりの大人のかかわり方が肝要です。私は、みんなから大切にされているという自己肯定感や心の豊かさがベースになればなりません。

江戸時代後期の曹洞宗の僧侶・良寛をご存じの方は多いと思います。良寛の生き方の柱には「愛語」がありました。曹洞宗の開祖である道元の教えのひとつで、人と接する時に、愛に満ちた優しい言葉を使い、乱暴な言葉や憎む言葉を使わないという教えです。もちろんそれには、声に出す言葉だけでなく、慈しみのこもった表情や態度も含まれます。

心が豊かになっていく体験を「愛語体験」と呼ぶこともできます。たくさんさんの愛語体験を積み重ねてきた人は、人として太い根と幹を育て、芳醇な実を稔らせます。

子どもたちが描いた夢や希望をかなえる道すじは、どの道も決して平坦なものではなく、山あり谷ありの道だと思えます。「○○のせいでできなかつた」というような言い訳をせず、その逆境をバネとして、たくたくましく生きていくために、子どもたちが幼い頃から、温かくて心安らぐたくさんの愛語に出逢えることを祈らずにはいられません。



毎月第1日曜日は「家庭の日」

毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。

青少年育成都留市民会議編集委員

連載・青少年健全育成シリーズ 第265回

「愛語に出逢う」

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月

⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄